

## ■ 掲示板

### ■ 理化学研究所 定年制研究員公募

1. 所属：放射光科学総合研究センター 田中次世代 X 線レーザー研究室
2. 公募人員：研究員 1 名
3. 職務内容：放射光や XFEL 施設における光源装置の高度化を目指した研究開発を推進する。具体的には、永久磁石の高性能化と関連技術の高度化による光生成効率の飛躍的な改善、及び構造の効率化による超軽量かつコンパクトな装置の実用化を目指す。また、従来の永久磁石方式とは異なる、全く新たな原理に基づく放射光源の開発や、それらを利用した XFEL 手法の開拓を推進する。
4. 応募資格：関連分野の博士号を有すること。1 年以上の海外研究歴を有することが望ましい。放射光・XFEL 施設での研究経験を問わないが、SPring-8 及び SACLA における光源開発に意欲的に取り組んで頂ける方を求める。
5. 着任時期：2015年10月1日
6. 任期：定年制職員（60歳定年）
7. 提出書類：
  - (1) 履歴書（写真付）
  - (2) 研究業績一覧
  - (3) 主要論文の別刷り（5編以内）
  - (4) 現職の所属長を含む推薦書 2 通（内、最低 1 通は日本以外に籍を置く研究者からのものとする。また、現職の所属長から推薦書をもらうのが困難な場合は、第 3 者による推薦書）
  - (5) これまでに獲得した外部資金リスト（書式フリー）
  - (6) これまでの研究の概要と今後の抱負
8. 応募締切：2015年5月22日17時
9. 問合せ・書類送付先：  
〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 独立行政法人理化学研究所 情報基盤棟 3 階 外務・研究調整部 研究調整課 ※封筒の表に「田中次世代 X 線レーザー研究室研究員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留または書留で送付すること。  
E-mail : rps-saiyo25@riken.jp  
URL : [http://www.riken.jp/careers/researchers/20150302\\_2/](http://www.riken.jp/careers/researchers/20150302_2/)

### ■ 平成27年度後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

1. 募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費助成事業の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。
2. 応募期限：  
平成27年5月中旬予定（一般課題，特別課題）  
平成27年5月下旬予定（大学院生奨励課題）  
なお、予備実験・初心者型課題については、随時受付しています。

（日程が確定次第、Web 掲示板を通じてお知らせいたします。）

3. 応募要領：  
実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。  
申請受付は4月9日(木) 9:00 に受付を開始する予定です。  
具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://uskek.kek.jp/apply/pf.html> をご参照ください。
4. その他：研究成果は公表していただきます。
5. 問合せ先：  
高エネルギー加速器研究機構  
研究協力部研究協力課  
共同利用支援室共同利用係  
E-mail : [kyodo1@mail.kek.jp](mailto:kyodo1@mail.kek.jp)  
TEL : 029-864-5126

### ■ 産業技術総合研究所 研究職員の公募について

当研究所では、下記により研究職員を公募いたします。

1. 募集職種：修士型研究員（任期の定めのない定年制の職員）
2. 採用予定人数：5 名程度
3. 応募資格：  
以下 2 つの条件を満たすこと。  
○大学院修士修了（または見込み）以上  
○1985年（昭和60年）4月2日以降生まれの者  
※補足  
○新卒・既卒不問。但し、次のいずれかに該当する者を除く。  
・成年被後見人、被保佐人及び被補助人。  
・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその刑の執行を受けることがなくなるまでの者。  
○日本国籍を有していない場合は、採用予定日までに日本国内における当研究所で就労するために必要な在留資格を取得すること。
4. 主な職務内容：「計測・計量標準」に関する研究開発業務（計測工学，機械工学，電気・電子工学，量子物理学，材料工学，有機・無機化学，分析化学，生物学，統計学）
5. 採用予定日：原則として、平成28年4月1日
6. 締切日：平成27年6月30日(火)
7. 採用説明会スケジュール（随時更新）  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/03jimu/seminar.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/03jimu/seminar.html)
8. 詳細および応募方法：  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/02kenkyu/master.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/02kenkyu/master.html)
9. 問合せ先：放射線標準研究室 齋藤則生  
E-mail : [aist-saiyo16-ml@aist.go.jp](mailto:aist-saiyo16-ml@aist.go.jp)  
TEL : 029-861-5656

## ■会告

### ■第19回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2014年9月12日開催の学術等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

氏名, 所属, 並びに, 選考理由は下記の通り。

その結果を受け, 第104回評議員会にて第19回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され, 第28回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

- 小林正起 (高エネルギー加速器研究機構)

「超高分解能軟 X 線発光分光を用いた磁性半導体の電子構造解析」

小林正起氏は博士号を取得したのち, SPring-8 の東大アウトステーション BL07LSU 発光分光ステーションの建設に携わった。同氏を中心となってそのデザインを進め, 軟 X 線の比較的低いエネルギー領域では, 現在世界最高のエネルギー分解能を達成している。この実験ステーションは, 軟 X 線領域の高エネルギー側をカバーするスイス放射光施設 (SLS) の同様の装置とは相補的なものとなっており, 国内外から多くのユーザーを集める装置となっている。同氏は本装置を用いて, 希薄磁性半導体 (Ga, Mn) As の Mn の電子状態に着目した研究を行い, バルク敏感な測定で Mn 3d 電子と配位子の電子との混成を明らかにした。この研究成果は, 本系における磁性起源の理解において貴重な情報を与えた。また同氏は数多くの論文を発表し, 海外の研究者との共同研究も多く, その実績も評価できる。このように, 世界最先端の装置開発および, それを利用した一連の研究成果は, 放射光科学分野の研究業績として高く評価できる。

以上の理由から, 同氏は日本放射光学会奨励賞に十分値するものと判断する。

### ■第2回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2014年10月11日開催の第104回評議員会にて, 村上会長より受賞候補者1名が推薦された。審議の結果, 第2回日本放射光学会功労報賞の授与が承認され, 第28回総会にて賞状の授与を行った。

氏名, 所属, 並びに, 選考理由は下記の通り。

- 三國 晃 (株式会社つくば研究開発支援機構)

三國晃氏は1962年に東京大学物性研究所に入所して以来, SOR-RING およびフォトンファクトリーにおいて, 数々の技術開発を成し遂げられ, 放射光科学の発展に大きく貢献された。また同氏は施設の技術者の立場で優れた技術開発を行うとともに, 多くの後進の技術者を育成し, 今日の放射光科学の発展の重要な礎を築いた。

以上の理由から, 同氏は日本放射光学会功労報賞に十分値するものと判断する。

### ■日本放射光学会第105回評議員会議事録

日 時: 2015年1月10日(土) 11:30~13:00

場 所: 立命館大学ローム記念館

出席者: 雨宮健太, 足立純一, 足立伸一(庶務幹事), 有馬孝尚, 稲田康宏, 大橋治彦, 加藤政博, 河田 洋, 木下豊彦(会計幹事), 木村洋昭, 近藤 寛, 組頭広志, 大門寛, 高田昌樹, 竹田美和, 谷口雅樹, 中尾裕則, 野村昌治, 濱 広幸(渉外幹事), 原田慈久, 藤森 淳, 松田巖, 百生 敦, 矢橋牧名, 山田和芳, 横山利彦, 渡辺義夫  
木村昭夫(編集幹事), 篠原佑也(行事幹事), 村上洋一(会長)

欠席者: 籠島 靖, 佐々木聡, 中井 泉

事務局: 佐藤亜己奈 (WORDS), 西野三和子 (WORDS)

#### 〈審議事項〉

1. 第28回総会の議事について  
足立庶務幹事より, 第28回総会の議事案について説明があり, これを承認した。また, 2014年度決算・2015年度予算, 石井先生の名誉会員推戴について確認した。
2. 会員異動  
足立庶務幹事より, 第104回評議員会以降の入会申請者に関して, 入会: 正会員48名(内学生34名), シニア会員1名の報告があり, これを承認した。退会に関して, 退会: 正会員9名(うち学生会員0名)を確認した。2015年1月10日現在での総会員数は1,379名(うち学生会員143名), 名誉会員5名, シニア会員28名, 賛助会員42社(44口), 特別賛助会員11団体(18口)。また, 会費3年間未納のための自動退会者30名を確認した。
3. 協賛・後援  
足立庶務幹事より, 本学会に対する協賛依頼について報告があり, 協賛8件を承認した。

#### 〈報告事項〉

1. 先端放射光源に関する研究会について  
村上会長より, 2014年11月21日-22日に自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンターで開催された「先端放射光源に関する研究会 ―第3世代放射光リング/SASE-FELを越えて日本が選択すべき放射光源ロードマップに向けて(1)」について報告があった。
2. 日本学術会議公開シンポジウムについて  
村上会長より, 2014年10月31日に日本学術会議講堂で開催された日本学術会議公開シンポジウム「中型高輝度放射光源に期待するこれからの科学技術」について報告があった。
3. 他学会との連携について  
村上会長より, 中性子科学会と各種シンポジウムやセミナーなどの共同開催を行うことを手始めに, 他学会との連携を図り, 放射光科学の重要性を各方面にアピールしていくことを検討しているとの報告があった。
4. マスタープラン2014のエミッタンス表記の件について

村上会長より「学術機関課ヒアリング資料におけるエミッタンス値の変更」に関して、日本学術会議および文科省研究振興局学術機関課に対して事情説明や資料の差し替え依頼を行ったところ、日本学術会議からは「前例もないため修正は難しい」との返答があったとの報告があった。また、文科省研究振興局学術機関課からは返答がなく、これ以上の差し替え要求を行う必要はないと判断したとの報告があった。

5. 学会事務局の業務委託について  
足立庶務幹事より、学会事務局を委託可能な業者について現在情報収集を行っており、今後は仕様書を作成して各社に見積を取っていく予定であるとの報告があった。
6. 2015年国際光年 (IYL2015) について  
足立庶務幹事より、1月8日に開催された「国際光年 (IYL2015) に関する懇談会」での情報について報告があり、国際光年への参画方法には、国際光年協議会会員への参加、国際光年推進パートナーへの参加（参加費は一口5万円から）、IYL2015へのスポンサーとしての協賛（協賛金は1000ユーロから）の3つがあるとの説明があった。参画方法について審議した結果、国際光年協議会会員への参加を承認した。国際光年推進パートナーへの参加とIYL2015へのスポンサーとしての協賛については、参加費と協賛金を予算に計上することを承認し、実際に支出するかどうかは様子を見ながら会長・幹事が判断し、評議員会に諮ることとした。尚、当学会の活動予定としては、ホームページ・学会誌へのロゴ掲載、学会誌での特集記事、IYL2015に関連したイベントの開催を検討するとの説明があった。
7. JSR2016準備状況  
篠原行事幹事より、JSR2016は2016年1月に柏の葉カンファレンスセンターで開催予定であるとの報告があった。
8. 会誌編集状況  
木村編集幹事より、会誌編集状況について報告があった。
9. その他  
日本 XAFS 研究会から学会長宛に、提言書「X線吸収微細構造 (XAFS) 分光の将来展望」が届いたとの報告があり、この提言書は現在日本 XAFS 研究会のホームページで公開されているので意見を寄せて欲しいとの説明があった。

#### 評議員会日程 (予定) の確認

- 第106回評議員会 2015年4月11日(土)  
場所：立命館大学東京キャンパス  
第107回評議員会 2015年7月18日(土)  
場所：未定

#### ■第28回 (2015年) 日本放射光学会総会議事録

日時：2015年1月10日(日) 16:40~17:40  
場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館大会議室  
出席者：出席者：130名 委任状：68名 計：198名  
定款第28条により、正会員の1/10 (138名) 以上の参加で総会は成立。

(議事)

1. 議長選出

議長に加藤政博会員を選出した。

2. 2015年度会長挨拶  
村上会長より挨拶があり、放射光科学将来計画の推進、開かれた放射光学会の取組、若手研究者の育成、財政基盤の確立等、2015年度の活動方針について所信表明があった。
3. 2014年度事業報告  
足立庶務幹事より2014年度の学会活動について報告があった。
4. 2015年度事業計画・2015年度学会組織  
足立庶務幹事より2015年度の事業計画および2015年度の学会組織 (会長、幹事、評議員、各委員会) について報告があった。
5. 2015年度行事活動方針  
篠原行事幹事より、年会・合同シンポ、放射光基礎講習会、若手研究会の開催等、2015年度の行事活動方針について報告があった。
6. 2015年度編集活動方針  
木村編集幹事より、試料環境シリーズの連載開始等、2015年度の編集活動方針について報告があった。
7. 2015年度渉外活動方針  
足立庶務幹事より、国際光年 (IYL2015) の協賛、国内他学会との連携等、2015年度渉外活動方針について報告があった。
8. 第19回学会奨励賞  
下記の1名を第19回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。  
小林正起会員 (高エネルギー加速器研究機構)  
「超高分解能軟 X 線発光分光を用いた磁性半導体の電子構造解析」
9. 第2回功労報賞  
下記1名を第2回功労報賞の受賞者として決定した旨の報告があった。  
三國 晃氏 (株つくば研究開発支援機構)
10. 2014年度決算報告  
木下会計幹事より2014年度の決算報告があり、これを承認した。
11. 2015年度予算案  
木下会計幹事より2015年度予算案が示され、これを承認した。
12. 名誉会員推戴  
村上会長より、石井武比古先生を名誉会員に推戴することが提案され、満場一致でこれを承認した。

## ■会員異動

## 第105回評議員会（2015年1月10日）で承認

## 《正会員入会》

小原 省三  
 川瀬 啓悟 大阪大学産業科学研究所  
 熊谷 嘉晃 東北大学 多元物質科学研究所 上田研究室  
 和田 憲幸 鈴鹿工業高等専門学校  
 保井 晃 高輝度光科学研究センター 利用研究促進部門  
 分光物性Ⅱグループ  
 橋本 亮 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究  
 所 放射光科学研究施設  
 坂倉 輝俊 東北大学多元物質科学研究所 構造材料物性研究  
 分野  
 雨澤 浩史 東北大学 多元物質科学研究所  
 河口 彰吾 高輝度光科学研究センター  
 池崎 圭吾 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系  
 専攻 多次元計測科学講座  
 佐藤 堯洋 東京大学大学院理学系研究科化学専攻量子化学研  
 究室  
 東谷 篤志 摂南大学理工学部基礎理工学機構  
 中嶋 享 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究  
 所 放射光科学第一研究系  
 佐野 雄二 革新的研究開発推進プログラム

以上14名

## 《学生会員入会》

中谷 泰博 大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻  
 物性物理工学領域 関山研究室  
 中田 裕貴 阪大基礎工 物質創成専攻 関山研究室  
 井上 圭介 総合研究大学院大学, 高エネルギー加速器科学研  
 究科, 物質構造科学専攻  
 真崎 悠 慶應義塾大学理工学部物理学科中迫研究室  
 西森 一喜 関西学院大学大学院理工学研究科物理学専攻高橋  
 功研究室  
 大坪 寛太 立命館大学大学院生命科学研究所無機触媒化学研  
 究室  
 伊藤 圭哉 名古屋大学大学院 工学研究科 高嶋研究室  
 中西 亮輔 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 秋  
 葉研究室  
 田中 正人 千葉大学大学院融合科学研究科ナノ物性コース  
 奥平・中山研究室  
 岸 亮太 京都工芸繊維大学大学院  
 金井 惟奈 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻物性  
 物理工学領域関山研究室  
 角田 一樹 広島大学大学院理学研究科光物性研究室  
 内免 翔 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻物性  
 物理工学領域関山研究室  
 宮部 俊宏 東京大学 新領域創成研究科 物質系専攻 佐々  
 木研究室  
 榎本 香里 名古屋大学大学院 理学研究科 物質理学専攻  
 (化学系) 無機化学研究室

山下 賢治 広島大学大学院理学研究科  
 佐藤 有紗 蛋白質研究所 蛋白質結晶学研究室  
 東 隆裕 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻  
 多田野 涉 広島大学大学院 理学研究科 物理科学専攻 放  
 射光物性研究室  
 松岡 祥吾 広島大学理学部物理科学放射光物性研究室  
 松島 翼 北里大学大学院医療系研究科  
 中島 淳貴 東京大学 物性研究所 原田研究室  
 戎 佳宏 広島工業大学工学系研究科電気電子工学専攻 尾  
 崎ゼミ  
 広瀬 真 大阪大学工学部山内研究室  
 高橋 洋平 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所  
 廣川 純子 東京理科大学理学部応用化学科  
 江川 悟 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻国枝三  
 村研究室  
 君塚 平太 東北大学大学院理学研究科物理学専攻 光電子固  
 体物性研究室  
 佐々木智也 北海道大学大学院情報科学研究科生命人間情報科  
 学専攻バイオナノイメージング研究室  
 大嶽 太知 名古屋大学 工学研究科 高嶋伊藤研究室  
 高島 雄輝 北海道大学電子科学研究科西野研究室  
 山本 耕平 北海道大学 電子科学研究所  
 片宗 優貴 九州大学大学院 総合理工学府 量子プロセス理  
 工学専攻 吉武研究室  
 鈴木 操士 群馬大学工学部生産システム工学科櫻井研究室

以上34名

## 《シニア会員入会》

池田 重良 立命館大学 総合理工

以上1名

## 《退会会員》

正会員9名

## 《会員数》

会員1379名（内学生143名） 名誉会員5名 シニア会員28名  
 賛助会員42社（44口） 特別賛助会員11団体（18口）

日本放射光学会2014年度決算書  
自 2013年10月1日 至 2014年9月30日

1. 収入の部 (単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	8,654,000	12,105,000
	学生会員会費収入	196,000	
	賛助会員会費収入	2,250,000	
	購読会員会費収入	405,000	
	特別賛助会員会費収入	600,000	
会誌収入	会誌広告収入	3,610,413	4,190,562
	会誌販売収入	204,309	
	別刷収入	344,340	
	会誌カラー印刷費	31,500	
年会・合同シンポ収入			13,219,490
行事開催収入	基礎講習会	97,000	97,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	228,500	243,500
	販売収入 (検出器ガイド)	15,000	
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	5,392	6,700
	受取利息	1,308	
収入の部合計			29,862,252

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費	5,512,472	6,980,517
	別刷印刷費	210,713	
	原稿料	123,000	
	会誌発送費	631,499	
	発送手数料 (ワーズ)	502,833	
単行本出版費	発送手数料 (ビームライン光学技術) (ワーズ)	46,237	60,361
	仕入れ (検出器ガイド)	14,124	
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		196,080
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費 (ワーズ)	9,123,237 1,199,600 1,483,217	11,806,054
行事開催費	基礎講習会開催費	169,699	393,135
	若手研究会開催費	223,436	
事業費	会議費	2,045,980	3,475,380
	通信費	404,292	
	印刷費	301,578	
	事務局交通費	44,280	
	公開市民講座開催費	79,250	
	AOFSRR 協賛金	600,000	
管理費	事務用品費	2,280	583,705
	消耗品費	78,220	
	給料手当 (選挙開票アルバイト)	18,000	
	運賃 (宅急便+メール便)	287,743	
	支払手数料	197,462	
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費	422,893	3,834,537
	Web 会員名簿維持費	185,310	
	会員業務費	711,471	
	庶務業務費	1,380,315	
	行事開催業務費	51,428	
	広告業務費	1,083,120	
会計業務費	税理士顧問料		360,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			27,694,769

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			2,167,483
前期繰越金			8,135,271
次期繰越金			10,302,754

## 2014年度資産負債明細

2014年9月30日現在

### 1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	92,496
	郵便振替残高	4,107,707
	三菱東京UFJ銀行普通預金残高	4,716,857
	三井住友銀行普通預金残高	8,895,964
2. 未収金	会誌販売未収残高	72,800
	販売収入 (ビームライン光学技術)	2,500
	販売収入 (検出器ガイド)	5,000
3. 立替金	第28回年会・合同シンポ (旅費など)	1,100,430
流動資産の部合計		18,993,754

### 2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	6,520,000
	学生会員会費	121,000
	賛助会員会費	2,050,000
負債の部合計		8,691,000

### 3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		8,135,271
2. 当期収支差額		2,167,483
剰余金の部合計		10,302,754

日本放射光学会2015年度予算書  
自 2014年10月1日 至 2015年9月30日

## 1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	9,000,000	12,690,000
	学生会員会費収入	190,000	
	賛助会員会費収入	2,200,000	
	購読会員会費収入	400,000	
	特別賛助会員会費収入	900,000	
会誌収入	会誌広告収入	3,400,000	4,202,000
	会誌販売収入	200,000	
	別刷収入	350,000	
	会誌カラー印刷費	252,000	
年会・合同シンポ収入			13,286,490
行事開催収入	基礎講習会	100,000	100,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	400,000	400,000
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	5,000	5,700
	受取利息	700	
収入の部合計			30,684,190



2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 別刷印刷費 原稿料 会誌発送費 発送手数料（ワーズ）	5,800,000 300,000 100,000 650,000 514,286	7,364,286
単行本出版費	印刷費（ビームライン光学技術） 発送手数料（ビームライン光学技術）（ワーズ）	48,857	48,857
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		65,360
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費（ワーズ）	7,883,000 1,500,000 1,501,714	10,884,714
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	100,000 776,564	876,564
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSRR 協賛金 国際光年協賛金	2,000,000 421,714 308,571 120,000 0 900,000 200,000	3,950,286
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当（選挙開票アルバイト） 運賃（宅急便+メール便） 支払手数料	10,000 100,000 20,000 300,000 200,000	630,000
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費 広告業務費	432,000 216,000 771,429 1,542,857 51,428 1,131,429	4,145,142
会計業務費	税理士顧問料		560,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			28,530,209

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			2,153,981
前期繰越金			10,302,754
次期繰越金			12,456,735

## ■日本放射光学会2015年度組織

## ■会長（任期：2013.10.01-2015.09.30）

村上洋一（KEK）

## ■幹事（任期：2013.10.01-2015.09.30）

庶務幹事 足立 伸一（KEK）

行事幹事 篠原 佑也（東大）

編集幹事 木村 昭夫（広大）

渉外幹事 濱 広幸（東北大）

会計幹事 木下 豊彦（JASRI）

## ■評議員

（任期：2013.10.01-2015.09.30）

足立 純一（KEK）

大橋 治彦（JASRI）

加藤 政博（分子研）

組頭 広志（KEK）

佐々木 聡（東工大）

大門 寛（奈良先端大）

高田 昌樹（理研）

竹田 美和（AichiSR）

中井 泉（東京理科大）

中尾 裕則（KEK）

原田 慈久（東大）

藤森 淳（東大）

松田 巖（東大）

矢橋 牧名（理研）

山田 和芳（KEK）

（任期：2014.10.01-2016.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

有馬 孝尚（東大）

稲田 康宏（立命館大）

籠島 靖（兵庫県立大）

河田 洋（KEK）

木下 豊彦（JASRI）

木村 洋昭（JASRI）

近藤 寛（慶應大）

谷口 雅樹（広大）

野村 昌治（KEK）

濱 広幸（東北大）

百生 敦（東北大）

横山 利彦（分子研）

渡辺 義夫（あいち SR）

## ■行事委員（任期：2014.10.01-2015.9.30）

篠原 佑也（東大）委員長

阿部 仁（KEK）

高橋 幸生（阪大）

長坂 将成（分子研）

松原 伸一（JASRI）

矢代 航（東北大）

山本 達（東大）

## ■渉外委員

（任期：2013.10.01-2015.9.30）

濱 広幸（東北大）委員長

木村 洋昭（JASRI）

引間 孝明（理研）

平木 雅彦（KEK）

松下 智裕（JASRI）

James Harries（JAEA）

## ■編集委員

（任期：2013.10.01-2015.09.30）

木村 昭夫（広大）委員長

舟越 賢一（CROSS）

水牧仁一郎（JASRI）

秋山 修志（分子研）

吾郷日出夫（理研）

川村 朋晃（日亜化学）

小嗣 真人（JASRI）

佐賀山 基（東大）

富樫 格（JASRI）

沼子 千弥（千葉大）

野澤 俊介（KEK）

松井 文彦（奈良先端大）

吉村 大介（SAGA-LS）

（任期：2014.10.01-2016.09.30）

大和田謙二（JAEA）

栗栖 源嗣（阪大）

島田 美帆（KEK）

下崎 義人（JASRI）

田中 清尚（UVSOR）

筒井 智嗣（JASRI）

中西 康次（京大）

## ■2015年度の主な事業計画

- 第8回 AOFSSRR スクール（Cheiron School 2014）  
2014年9月23日-10月2日（於：SPring-8）
- 日本学術会議公開シンポジウム「中型高輝度放射光源に期待するこれからの科学技術」（共催：日本放射光学会）  
2014年10月31日（於：日本学術会議講堂）
- 先端放射光源に関する研究会  
2014年11月21日-22日  
（於：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター）
- 第28回年会・放射光科学合同シンポジウム  
2015年1月10日-12日  
（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
- 第28回総会  
2015年1月10日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
- 第19回学会奨励賞授与  
2015年1月10日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）

- 若手研究会
- 放射光基礎講習会  
2015年夏季開催予定
- 評議員会 (10月, 1月, 4月, 7月)
- 幹事会 (12月, 3月, 6月)
- 編集委員会 (年3回)
- 行事委員会 (年1回 (年会時))
- 第20回学会奨励賞受賞候補者選考会議
- 次期会長・評議員選挙
- 学会誌の定期発行 (年6回)  
Vol. 27, No. 6/2014年11月末発行  
Vol. 28, No. 1/2015年1月末発行  
Vol. 28, No. 2/2015年3月末発行  
Vol. 28, No. 3/2015年5月末発行  
Vol. 28, No. 4/2015年7月末発行  
Vol. 28, No. 5/2015年9月末発行
- 第29回年会・放射光科学合同シンポジウム  
(2016年1月/柏の葉カンファレンスセンター) 準備

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 木村昭夫  
渉外幹事 濱 広幸

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr282

Password:Pgke3ai7

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、濱 (hama@lns.tohoku.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、木村 (akiok@hiroshima-u.ac.jp) までお願いします。

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2015年 4/23	15-1 ポリマーフロンティア21 最近の分析・解析技術の進歩とその産業応用—最新の量子ビームと電子顕微鏡が拓く驚きの世界—	東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール	高分子学会 行事委員会 TEL : 03-5540-3770	28・2
5/3-8	The sixth International Particle Accelerator Conference (IPAC'15)	Richmond, Virginia, USA	<a href="https://www.jlap.org/conferences/ipac2015/">https://www.jlap.org/conferences/ipac2015/</a>	28・2
5/19-22	第51回真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所	(一社)日本真空学会関西支部・(一社)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部 E-mail : g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp	28・2
6/8	第43回薄膜・表面物理セミナー (2015) 次世代・革新二次電池技術の最前線～薄膜・表面研究者にもわかる電池の基礎から将来展望まで～	早稲田大学西早稲田キャンパス55N 号館1階 大会議室 B	公益社団法人 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail : oda@jsap.or.jp	28・2
7/3	日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2015 「半導体デバイスの明日を担う新規材料開発の現状と展望」	大阪大学会館	(一社)日本真空学会関西支部, (公社)日本表面科学会関西支部, 大阪大学 E-mail : miura@kit.ac.jp	28・2
7/5-8 (予定)	第15回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射光科学を学ぶ—	大型放射光施設 SPring-8 キャンパス	兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学, (公財)高輝度光科学研究センター, 理化学研究所放射光科学総合研究センター, (独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究センター E-mail : 2015summerschool@spring8.or.jp	28・2
7/13-15	日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」	東京理科大学 1 号館 17階記念講堂	日本結晶学会 E-mail : crsj-xray@bunken.co.jp	28・2
7/14-16	NIMS Conference 2015 最先端計測が切り拓くマテリアルイノベーション	つくば国際会議場エポカル大ホール他	独立行政法人物質・材料研究機構	28・2
9/16-18	第28回日本セラミックス協会 秋季シンポジウム特定セッション「先進的な構造科学と新物質開拓」	富山大学	富山大学	28・2

### ■15-1 ポリマーフロンティア21

#### 最近の分析・解析技術の進歩とその産業応用—最新の量子ビームと電子顕微鏡が拓く驚きの世界—

高分子の高機能化・高性能化を支える上で、その分析・解析技術が不可欠であることは言うまでもありませんが、最近のその進歩は目覚ましいものがあります。例えば、放射光 X 線、中性子、ミュオンに代表される量子ビームの急速な進展、それに伴うナノ構造解析、表面や埋もれた界面の観察、干渉性の著しい向上に伴うイメージング技術や位相回復による非晶質の観察等を見張るものがあります。また、電子顕微鏡における空間分解能の向上や三次元観察、一分子観察の技術開発なども行われるように

なって参りました。一つの特徴はこれらの最新解析技術がすぐに産業応用に用いられることです。今回は、そのような新しい解析技術のうち量子ビームと電子顕微鏡を中心にその発展を紹介するとともに、どのように産業界で利活用されているかを、応用例も含めて紹介いただきます。

**主 催** : 高分子学会 行事委員会

**協 賛** : 日本放射光学会, 他

**日 時** : 2015年4月23日 10:20-17:00

**場 所** : 東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール (東京都目黒区大岡山 2-12-1)

**定 員** : 100名

**ホームページ** : <https://www.spsj.or.jp/entry/>

問合せ先:

公益社団法人高分子学会 15-1 ポリマーフロンティア21係  
〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F  
TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737

## ■第51回真空技術基礎講習会

実習を主にした初級者のための真空技術基礎講習会。真空の基礎、真空ポンプ、計測、リークテスト等。

主催: (一社)日本真空学会関西支部・(一社)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2015年5月19日(火)~5月22日(金)

場所: 大阪府立産業技術総合研究所 (大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1)

参加費: 主催団体会員52,000円, 協賛団体会員55,000円, 一般60,000円

定員: 60名

締切日: 2015年5月11日(月)

申込・連絡先:

(地独)大阪府立産業技術総合研究所内  
(一社)大阪府技術協会 担当: 山中・三浦  
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1  
TEL: 0725-53-2329 FAX: 0725-53-2332  
E-mail: g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp  
<http://www.vacuum-jp.org/>

## ■第43回薄膜・表面物理セミナー (2015)

次世代・革新二次電池技術の最前線

~薄膜・表面研究者にもわかる電池の基礎から将来展望まで~

スマートフォン・ノート PC などの電子機器やハイブリッド・電気自動車だけではなく、再生可能エネルギーの利用を含めた将来のエネルギーシステムにとっても二次電池をはじめとする高性能な蓄電デバイスの開発が必須となっています。二次電池における化学エネルギーと電気エネルギー間の相互変換では、薄膜上での表面・界面が反応場として重要な役割を担っています。

本セミナーは、このような二次電池技術の最前線について、電気化学を専門としない物理系の薄膜・表面研究者にとってもわかりやすく概観し、将来を展望する研究会として企画しました。二次電池を必要とする社会的要請やその理解のための電気化学の基礎から現在活発に研究・開発が進行している各種二次電池技術の現状に至るまでを第一線の講師の皆様から紹介いただきます。

主催: 公益社団法人 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2015年6月8日(月) 10:00-17:10 (受付開始 9:30)

場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス55N 号館 1階 大会議室 B

参加費: テキスト代, 消費税を含む

薄膜・表面物理分科会 10,000円, 応用物理学会会員・協賛学協会会員 15,000円, 学生 3,000円, その他 20,000円

他 20,000円

定員: 100名 (定員になり次第締め切ります。)

参加申込期間: 2015年4月1日(水)~5月25日(月)

参加登録問合せ先:

応用物理学会事務局分科会担当 小田康代  
TEL: 03-5802-0863 FAX: 03-5802-6250  
E-mail: oda@jsap.or.jp

## ■日本真空学会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同セミナー2015

「半導体デバイスの明日を担う新規材料開発の現状と展望」

現在使われている半導体材料(シリコン)を用いたデバイスは、電力の利用効率等の観点から限界に近づきつつあります。本セミナーでは、次世代材料として流通しつつある、または近々流通が期待されそうな幾つかの物質について、研究開発の歴史と現状・目指す将来展望を研究の第一線で活躍の専門家の方々に解説して頂きます。半導体デバイス研究をご専門になさる方はもちろんのこと、これとは異なる分野の研究者・技術者・学生や興味を持つ一般の方にも参考になる内容です。また、将来的にデバイス材料が変わることによって再分配が想定される人的・物的資産について、企業の方にも役立てて頂けるセミナーとなっております。皆様のご参加をお待ち致しております。

主催: (一社)日本真空学会関西支部, (公社)日本表面科学会関西支部, 大阪大学

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2015年7月3日(金) 13:15-17:15

場所: 大阪大学会館 (〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-13)

参加費: 無料

定員: 220名

申込締切: 2015年7月2日(木)

申込方法: <http://www.sssj.org/Kansai/goudou150703.html> よりオンライン申込を推奨します

問合せ先 (担当幹事):

日本真空学会関西支部幹事  
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町  
京都工芸繊維大学工芸科学研究科 三浦良雄  
TEL: 075-724-7418 E-mail: miura@kit.ac.jp

## ■第15回 SPring-8 夏の学校

—最先端の放射光科学を学ぶ—

SPring-8 夏の学校は、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的として、大学院修士(博士前期)課程に在学中の学生および学部4年生を主な対象\*に、毎年夏に4日間の日程で開催され今年で15回目となります。

SPring-8 で活躍する最前線の研究者による講義と実習を組み合わせることで、放射光の原理と利用研究の基礎を学ぶと共に、放射光を使う実習によって最先端の実験を体験出来るようにカリキュラムが準備されています。また、究極の X 線源で

ある自由電子レーザー (SACLA) についても学ぶことができます。

**主催**：兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科，  
関西学院大学大学院理工学研究科，東京大学放射光連携  
研究機構，岡山大学，(公財)高輝度光科学研究セン  
ター，理化学研究所 放射光科学総合研究センター，(独)  
日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究センター

**日時**：2015年7月5日(日)～7月8日(水) (予定)

**場所**：大型放射光施設 SPring-8 キャンパス

**参加費**：無料 (但し宿泊費・交通費等は自己負担)

**募集定員**：60名程度

**対象\***：大学院修士 (博士前期) 課程の学生。

(\*人数に余裕があれば学部4年生も受け入れます)  
所属大学で放射線業務従事者として教育を受け、登録  
されていること。

主催大学の推薦枠あり。(詳細はホームページをご覧  
ください)

**申込期間**：4月20日(月)10:00～5月15日(金)17:00まで (予  
定)

**申込方法**：WEBでの On-line 登録による参加申し込みとなりま  
す。

(応募者多数の場合は参加登録の内容をもとに選考さ  
せていただきます。)

詳しくは SPring-8 ウェブサイト (3月下旬にオープ  
ン予定) をご覧ください。

<http://www.spring8.or.jp/ja/> ⇒「大学生・院生の方  
へ」⇒「夏の学校」⇒「第15回」

**問合せ先**：

SPring-8 夏の学校事務局

(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI) 研究調整部

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

TEL：0791-58-0987/FAX：0791-58-0988

E-mail：2015summerschool@spring8.or.jp

## ■日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」

**主催**：日本結晶学会

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2015年7月13日(月)～7月15日(水)

**場所**：東京理科大学 1号館17階記念講堂 (東京都新宿区神楽  
坂 1-3)

**参加費** (各々1コース，2コース，3コースを受講した時の費  
用)：

主共催および指定学会\*会員：7000, 11000, 14000円

協賛学会会員：8000, 13000, 16000円

一般：10000, 18000, 26000円

学生：4000, 6000, 8000円

\*日本化学会，日本分析化学会，日本薬学会(主催賛助会員含む)  
※テキストとして「粉末 X 線解析の実際」第2版 (朝倉書店，  
売価6090円) を使用します。

おもちゃでない方は，受講生ひとり1冊に限り特別割引価格の  
4000円 (税込) で頒布します。

**定員**：180名 (先着順) 前回は満員となりましたので，早め  
の申込をお勧めします。

**申込方法**：講習会参加希望者は結晶学会ホームページ上の以下  
のサイトから Web 申込システムをご利用の上，お申し込みくだ  
さい。

<https://www.bunken.org/crsj/conf201507/Login>

**申込問合せ先**：162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデ  
ミーセンター

日本結晶学会ヘルプデスク FAX(03)3368-2827 E-mail：  
crsj-xray@bunken.co.jp

**内容問合せ先**：〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科  
大学理学部応用化学科

阿部善也，中井 泉 電話 (03)3260-4271 FAX(03)5261-  
4631 E-mail：y.abe@rs.tus.ac.jp

## ■NIMS Conference 2015

### 最先端計測が切り拓くマテリアルイノベーション

新規の物質や先進的な材料の研究開発にとって最先端の計測分  
析・評価解析ならびに計測インフォマティクスはキーテクノロ  
ジーである。高分解能かつ高感度な顕微計測技術や材料ニーズに  
応えるマルチスケールかつオペランド計測技術の開発こそ，革新  
的な物性を発現する新物質の創出と材料のイノベーションを加速  
する可能性を秘めている。今回の NIMS Conference では，環  
境，エネルギー，IT 分野などの社会ニーズに貢献し，サステイ  
ナブル社会を切り拓くマテリアルイノベーションの創出に寄与  
する最先端計測技術を展望する。

**主催**：独立行政法人物質・材料研究機構

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2015年7月14日(火)～7月16日(木)

**場所**：つくば国際会議場エポカール 大ホール他 (茨城県つくば  
市竹園 2-20-3)

**参集**：800名 (予定)

## ■第28回日本セラミックス協会 秋季シンポジウム特定 セッション

### 「先進的な構造科学と新物質開拓」

本セッションでは，新たなセラミックス開発のために，新規物  
質・材料の探索，合成プロセスの開発，構造および物性の評価に  
関する先進的な研究の融合をはかることを目的とし，構造科学，  
物質合成および物性，そして，計算科学分野の研究者が議論・情  
報交換を行うことにより，実験と理論の両面から新しい研究の方  
向性を見出す場を提供する。

**主催**：日本セラミックス協会

**協賛**：日本放射光学会，他

**日時**：2015年9月16日(水)～9月18日(金)

**場所**：富山大学 (五福キャンパス)

**発表形式**：口頭発表またはポスター発表

**発表申込締切り**：5月下旬頃

**発表申し込み方法**：<http://www.ceramic.or.jp/ig-syuki/28th/>